

第24回日本糖尿病・肥満動物学会 年次学術集会

日 時 2010年1月22日(金)・23日(土)

会 場 ホテルコスモスクエア国際交流センター

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-7-50

会 長 池 上 博 司

(近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科主任教授)

19 マクロファージのインスリンシグナル低下は血管壁へのマクロファージの集積を亢進させる

¹ 順天堂大学 内科学・代謝内分泌学講座,

² 東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科, ³ 富山大学 第一内科

○三田 智也¹, 東 浩介¹, 後藤 広昌¹, 金 文龍¹, 荒川 将之¹, 鈴木 亮²,
窪田 直人², 戸邊 一之³, 門脇 孝², 河盛 隆造¹, 綿田 裕孝¹

20 アディポネクチン受容体の動脈硬化に対する作用とその生理的・病態生理的意義の解明

東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科

○岩部 美紀, 山内 敏正, 岩部 真人, 窪田 直人, 植木 浩二郎, 門脇 孝

シンポジウム1「自然発症モデル動物を用いた糖尿病研究」

16:15 ~ 17:55

座長：藤澤 智巳（大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学）

横井 伯英（神戸大学大学院医学研究科 細胞分子医学）

1 NOD マウスのエフェクター T 細胞の糖尿病発症前の急激な質的变化について
—制御性 T 細胞抵抗性の獲得と Th17 細胞を中心に—

¹ 長崎大学医歯薬学総合研究科 第一内科, ² 長崎大学医歯薬学総合研究科 原研分子教室,

³ 東京大学医科学研究所 システム疾患モデル研究センター

○阿比留 教生¹, 永山 雄二², 中原 麻美², 厨 源平¹, 古林 正和¹, 赤澤 諭¹,
中村 寛¹, 佐藤 剛¹, 岩倉 洋一郎³, 江口 勝美¹

2 1 型糖尿病モデル KDP ラット

神戸大学大学院医学研究科 細胞分子医学

○横井 伯英

3 自然発症2型糖尿病モデル NSY マウスを用いた多因子疾患の機能分割

¹ 大阪大学大学院医学系研究科 分子内分泌学, ² 近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科,

³ 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学

○上田 裕紀¹, 馬場谷 成², 小林 美里³, 池上 博司²

4 新規2型糖尿病マウス DMS のコンジェニック系作出と原因遺伝子のポジショナルクローニングの現状

¹ 埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所, ² 滋賀県立成人病センター 研究所

○松島 芳文¹, 日合 弘²

5 近交系脂肪肝自然発症モデル：Fatty Liver Shionogi マウス

大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科

○藤澤 智巳, 樂木 宏実